

市之川公民館だより 令和7年6月号 (No.618号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「4月末現在」

Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 7人(男3人・女4人)

eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 5世帯

※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

6月 水無月 (みなづき)

睡蓮が咲き始めました。
 昨年は5月12日の開花です。
 【5月15日撮影】



梅雨の季節が近づいてきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

近年は各地で局地的な豪雨が発生しております。これからの土砂災害に
 備え、気象情報をこまめに確認してください。

また、ご健康にもお気をつけ、お元気でお過ごしください。

【公民館の花】



『スイセンノウ』
 (5月20日撮影)

『カシワバアジサイ』
 昨年、挿し木で育てた
 アジサイ。
 まもなく開花です。
 【5月20日撮影】



『スマイル』



《6月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
14	土	からおけ会 10:00～ 集会室
28	土	からおけ会 10:00～ 集会室

『ヒメイワダレソウ』



※ 西条高校商業科「輝安KOU房」の活動

4月29日(火) フジグラン西条店において、ワークショップや輝安鉦
 グッズの販売実習が開催されました。約30名の方がボールペン作りに
 参加されたそうです。

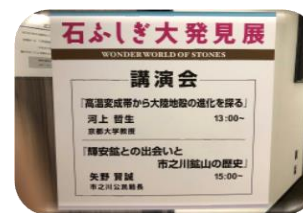


※ 石ふしぎ大発見展 (第31回大阪ミネラルショー)

去る4月26日(土) 大阪OMMホールに於いて講演を行いました。演題は「輝安鉦との出会いと市之川鉦
 山」です。講演の主な内容は、①鉦山資料室の展示物の紹介。②令和5年度から私個人で訪問した施設の紹介。
 ③西条高校商業科輝安KOU房の活動紹介です。講演の時間は15時～16時10分。

この大舞台で公民館長の講演を聞きに来てくれる人がいるのか、かなり不安でしたが、講演が始まる頃には満
 席。立見の方もいるなど、おおよそ90名の方に来て顶けました。講演会場には私を訪ね遠方からも来られた方
 もおられました。「館長、聞きに来たよ」と皆様方のお言葉が力になり、盛会裏に終えることができ、改めて人
 との繋がりの大切さを感じました

また、講演の前日25日の内覧会にも参加させて頂きました。内覧会は研究教育機関、博物館、専門業者等関
 係者の方々のみが入場できます。内覧会では顔なじみの業者の方々に西条高校のグッズを持参。お礼に商品の鉦
 物を高校生へ頂けるなど、新たな交流ができました。後日、出店のため講演を聞けなかった業者の方々から、
 「聞きたかった」とありがたいお言葉も頂きました。



講演の準備完了

原田広史先生 講演を聞きに
 つくば市から来られました。



益富地学会館の大井研究員



会場内にて
 有限会社キーストーン。西条
 高校へのお土産にとアメジス
 トを頂きました。(許可を頂
 いて撮影しました。)
 出店社はおおよそ270社。
 この様なブースが所狭しと
 並んでいます。

講演 13時～14時
 京都大学 教授 河上哲生 先生



講演 15時～16時10分
 市之川公民館長 矢野賢誠



※ 西条高校での講演兼リハーサル

令和7年4月22日(火)
 大阪での講演を前に、西条高校にて講演(リハーサル)を行いました。
 講演会に参加された生徒は商業科輝安KOU房の3年生11名。講演の
 後半は過去2年間に市之川公民館と合同で活動した内容だったこともあり、
 思い出話しにも花が咲いたようです。
 この後、5月6日の『第一回市之川鉦山の日』の打合せを行いました。



※ 市之川鉾山の日（市之川公民館共催事業）

2025 年 5 月 10 日

～毎月 10 日は人権を考える日～

令和 6 年度 人権問題に関する市民意識調査報告から（その 2）

人権擁護課、西条市人権教育協議会では、令和 6 年 5 月 21 日～6 月 10 日に「令和 6 年度 人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。これは、人権施策推進にあたり、5 年に 1 度実施し、人権問題に関する市民の意識を把握し、今後の施策の基礎資料とするものです。（詳細について）

西条市ホームページ（人権擁護課）をご覧ください。下記の URL からお入りください。
<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/jinken-yogo/ishikichosar6.html>

（問 14）部落問題（同和問題）について
初めて知ったきっかけは何ですか。

ア 家族	185人	24%
イ 近所の人	57人	7%
ウ 小学校の授業	289人	38%
エ 中学校の授業	58人	8%
オ 高校の授業	10人	1%
カ 大学の授業	3人	0%
キ 学校の友達	14人	2%
ク 職場の研修	17人	2%
ケ 同和教育の集会や研修会	37人	5%
コ テレビや新聞などのマスコミ情報	19人	3%
サ インターネット・SNS	1人	0%
シ 部落問題にかかわる出来事があった	5人	1%
ス 覚えていない	31人	4%
セ 部落問題を知らない	16人	2%
その他	10人	1%
未回答	8人	1%

	18～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	75歳代～
家族	5.7%	7.6%	12.6%	8.0%	31.8%	41.1%
近所の人	0%	0%	0%	2.7%	6.0%	17.4%
小学校の授業	54.7%	65.8%	72.8%	69.2%	25.8%	5.4%
中学校の授業	15.1%	6.3%	7.8%	9.7%	8.6%	5.0%
高校の授業	1.9%	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	1.6%
大学の授業	1.9%	0%	0%	0%	0.7%	0.4%
学校の友達	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	3.3%	3.1%
職場の研修	3.8%	0%	2.9%	0.9%	1.3%	3.5%
同和教育の集会や研修会	1.9%	1.3%	1.0%	3.5%	7.9%	7.0%
テレビや新聞などのマスコミ情報	0%	5.1%	0%	0%	1.3%	5.0%
インターネット・SNS	0%	1.3%	0%	0%	0%	0%
部落問題にかかわる出来事があった	0%	0%	0%	0.0%	0.7%	1.6%
覚えていない	11.3%	5.1%	1.0%	2.7%	4.6%	3.9%
部落問題を知らない	3.8%	2.5%	0%	1.8%	2.0%	2.3%

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

部落問題（同和問題）について
初めて知ったきっかけ

「小学校、中学校、高等学校の授業」で知ったと回答した人が 5 割近い割合となっています。さらに、「家族」「近所の人」と回答した人は 3 割となっています。

また、年代別にみると、50 歳代以下は、「学校教育」において初めて知ったと回答した人が多く、7 割～8 割となっています。

愛媛県で、人権・同和教育が学校教育の中で行われるようになったのは、昭和 40 年頃からです。

昭和 27 年広島県の中学校で、教師による差別事件が起きたことを契機に、当時の文部省は学校教育及び社会教育を通じての同和教育の徹底を指示する次官通達「同和教育について」を出しました。

また、昭和 40 年に「同和対策審議会答申」が出され、同和教育への関心が高まりました。

さらに、昭和 47 年、義務教育史上はじめて、ある教科書会社の中学校社会科教科書に同和問題に関する記述がなされ、同和問題学習の重要性と不可欠性が認識されはじめました。（本県で使用している社会科教科書に同和問題に関する記述が掲載されたのは、小学校は昭和 49 年、中学校は昭和 50 年のことでした。）

学校教育における人権・同和教育は、部落問題の科学的認識（偏見ではなく、科学的に正しく理解すること）のもとに「正しい」人権意識を育てることにあります。また、現在行われている社会教育における人権・同和教育の学習会、研修会等は、正しい人権についての学習を通して、私たちの誤った認識を正していくものです。



カフェ班準備中



集会室前の廊下に展示



輝安 K O U 房準備完了



皆さん公民館に到着です



高校生によるお迎え



公民館長：大阪ショーでの講演の紹介



西条高校商業科輝安 K O U 房：研究発表



講演や研究発表のあと、輝安 K O U 房による販売実習やワークショップ、カフェ班によるパンの販売やコーヒーでの接待が行われました。また、石割体験もされた方もおられたようです。



カフェ班 お疲れ様

※ 千荷坑周辺の草刈り

4月19日（土）イベントに備え「市之川鉾山の未来を考える会・西条高校」と合同で千荷坑周辺の草刈りを行いました。

